

【表紙】





## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当社グループ（当社及び連結子会社）は、当第2四半期連結累計期間におきましても、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象等を解消するため、既存事業の営業強化及び納期短縮、M & Aによる事業規模拡大により収益増加を目指します。資金につきましても、当第2四半期（E05317）

**抗体試薬事業**

株式会社ジェネティックラボを子会社化したことにより同社の分子病理解析受託サービスやC T C（血中循環腫瘍細胞）測定サービスなどが加わったこともあり、売上高は113,205千円（前年同期90,060千円）、営業利益は16,523千円（前年同期13,053千円）と増収増益となりました。

**病理診断事業**

当第2四半期連結会計期間より新たに追加された当事業は、株式会社ジェネティックラボが北海道内の医療機関や検査センターと連携し病理診断サービスを提供するものであり、売上高は61,257千円、営業利益は1,114千円でありました。

(2) キャッシュ・フローの状況

E05317)





#### 第4【経理の状況】

E05317)











現金及び現金同等物の四半期末残高

---

E05317)

---

**【注記事項】**

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社新薬リサーチセンターを設立し、連結の範囲に含めております。ま  
E05317)







## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 増村 正之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社トラン